

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

事業所名 多機能障がい児通所支援オリーブのねっこ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1	2		・(コロナで特に狭い。・ジョイントマットを増やして対応している。 ・感染予防のため子ども同士の距離感に気をつけている。 ・フロアで過ごす利用者が多いと成長にともない1人のスペースが大きくなること、チューブ抜去のリスクもある。
	2	職員の配置数は適切である	2	4	1		・毎日ギリギリだと思う。 ・少ない時もあります。 ・職員1人に対し、子ども2人担当の場合があり、しっかり見守りができない時もある。その時は全体を見る職員が対応している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7				
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	2			・業務係を決めて毎月の会議で振り返り課題を明確化し、対策を全員で考えています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	2			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	4			・同法人の職員から意見を聞いたりしています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6				・外部の研修は不足していたが毎月内部の学習会を実施しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	2	1		・半年に1回ケース会の実施、モニタリング計画の作りかえをしています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		1		・毎月の会議で活動内容の振り返りをしています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	3			・平日はなかなか難しい。 ・平日の活動は個別中心の内容だが休日や長期休みは集団や経験を大事にしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	2			・朝のミーティングを実施しています。 ・途中出勤者等、常務日誌で確認できている。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	5	1		・個人での関わりが多いため共有できてない。・毎日ではできていないが、翌日のミーティングで振り返りをしている。 ・気づいた点については個人日誌で確認できています。 ・自宅への送迎が終わると18時を超えるため支援の振り返りは当日にできない。	

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	2			<ul style="list-style-type: none"> 記録はしているがアセスメントが浅く次につながるものではない。 記録の中でSOAPが各職員意識できるように指導しています。 支援計画、目標にそっての記録が評価できる記録となっていないと感じる。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6				<ul style="list-style-type: none"> 半年に1回職員間でのケース会を実施し、計画につなげています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4	2			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	1			<ul style="list-style-type: none"> 直接子どもと関わりのある職員が参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6				<ul style="list-style-type: none"> 学校からの情報や学校への見学を行い共有しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6				<ul style="list-style-type: none"> 主治医の指示書ももらい、いつでも確認できるようにしている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	2	1		<ul style="list-style-type: none"> 児発から放デイへ移行した子どもはできているが、放デイの利用のみの子どもはできていない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	3	1		<ul style="list-style-type: none"> 対象利用者はいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	1		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	2	2		<ul style="list-style-type: none"> コロナの影響でできていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	3	1		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6				<ul style="list-style-type: none"> 利用時は家族と子どもについての様子など情報共有しています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	2	1		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6				<ul style="list-style-type: none"> 利用時やモニタリング面談での聞き取りを行い、アドバイスなどを行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		2	4		<ul style="list-style-type: none"> コロナの影響で交流できていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1			<ul style="list-style-type: none"> 職員間で共有し、その中で対策を考え迅速に動けるよう努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1			<ul style="list-style-type: none"> 毎月のたよりを発行している。
	35	個人情報に十分注意している	6	1			

	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	2		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	2	3	・コロナの為、できていない。 ・オリーブの実に期待している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	1		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	1		・今年度は2回実施した。 ・出口が一所なので、雨・雪などの避難場所がない。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	3	1	・研修はできていないが、日々の中で子どもとの関わりなど話をしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1	2	3	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6			・複数人で声出し確認している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1		・毎月の職員会議で事故・ヒヤリハット報告を行い、職員間で周知しています。